



学校給食センター

**学校給食の
アレルギー対策は**

問 さまざまなアレルギーがある中、市として症状のある児童・生徒にどのような対策をしているか。

答 アレルギー表示献立表を月単位で該当児童・生徒の保護者に渡し、自ら対象食材を控えるか弁当持参をお願いしている。除去食の提供は体制を刷新しないと難しい。

**学校給食の
放射能汚染対策は**

問 放射能測定器の導入についての市の考えは。

答 出荷の段階で検査が行われているため、市場にあるものは基本的に全て安全という認識をしている。必要に応じて県の学校給食会に検査を依頼すること等により、市が測定器を導入する必要性は薄いと考える。

**来本健作（無党派）
蒲郡市観光景観条例
制定への動きは**

問 すばらしい景観を有している蒲郡市にとって、都市景観条例は優先すべき施策と考えるが、どうか。

答 蒲郡は条例制定した自治体に多い歴史的に保存すべきまとまった町並みが少ない。建築制限をかけることへの住民主導の働きがなければ難しいと考える。

問 観光交流立市を宣言している蒲郡市として、観光に特化した条例、計画、規則等の制定はできないか。

答 現時点での制定は考えていないが、今後都市景観に関する条例等を考え



蒲郡市の観光シンボル「竹島」

る場合には観光の視点も取り入れ考慮していきたい。

- その他の質問
- 1 大塚地区インフラ整備
 - 2 合併及び広域連携・道州制について

尾崎広道（自由クラブ）

**災害緊急時における
契約について**

問 24年度の緊急災害時の災害復旧工事の人工賃の算出方法は時間単位では

なかったか。

答 災害復旧工事の費用については作業に要した資材、時間、人工賃などの見積もりを担当課が精査し、その人工賃の算定は愛知県単価を基準とし、業務内容をもとに判断している。

**市役所の
随意契約について**

問 入札すべき金額を超えたにもかかわらず随意契約をした場合に一元的な管理をしていく考えは。

答 法令に基づき随意契約されているか。また、随意契約の状況がどのようになっているかを24年度が終了した段階で把握をしていきたい。

鈴木貴晶（自由クラブ）

**市役所の発信として
フェイスブックの活用は**

問 迅速な情報提供や、関連情報がダイレクトに届くフェイスブックを既に導入している自治体がある。蒲郡市でも競艇場、水族館

竹島水族館の館内の様子



等が活用している。市役所としての活用はどうか。

答 一つの物事に対しての情報発信としてはメリットが多い。市役所としての発信は問題も多いと考えるが、検討していきたい。

**競艇場の
市民の声への対応は**

問 ポートウイングは、狭く券券機も少ないと聞くが対応は。

答 喫煙ルームを施設外に移し映像ホールにするためスペースが広がる。券券機も新スタンドオープンの際にキャッシュレス投票機を置き利便増進に努める。